

令和5年度全国学力・学習状況調査 朝来市小学6年生と中学3年生の 生活習慣や学習環境等に関する 質問紙調査の分析結果



令和5年4月18日（火）実施

調査の概要

「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることが目的です。

調査の内容

児童生徒に対する生活習慣や学習環境等に関する質問

児童・生徒質問紙について

定着していると考えられる生活習慣や自己意識

小学校

- ☺ 基本的な生活習慣はおおむね身に付いている。（朝食、起床就寝時刻など）
- ☺ 地域への関心が高く、行事へ積極的に参加し、地域のことを考えている児童の割合が高い。
- ☺ 学ぶことの意義や大切さを理解している児童が多い。

中学校

- ☺ 基本的な生活習慣はおおむね身に付いている。（朝食、起床就寝時刻など）
- ☺ 自分で計画を立てて勉強している生徒の割合が高い。
- ☺ 地域行事に参加している生徒の割合が非常に高く、地域に貢献したいという思いも強い生徒が比較的多い。

定着を維持するための取組

小学校

- 👉 規則正しい生活習慣の継続や親子のコミュニケーションの充実を目指し、家庭への呼びかけを継続する。
- 👉 学校運営協議会と連携し、地域の人材を活用した教育活動の充実を図ったり、地域の行事への参加を推進したりするなど、地域との連携を深めていく。

中学校

- 👉 定着している生活習慣を継続していけるよう、生活ノートや教育相談など機会を見付け、好ましい生活習慣を評価するとともに必要な助言を行っていく。
- 👉 地域の一員として地域行事への参加を促し、郷土を大切に思う心を育む。

課題があると考えられる生活習慣や自己意識

小学校

- ⦿ 土曜日や日曜日など学校が休みの日の学習時間が少ない。
- ⦿ 話し合い活動を通して、自分の考えを広げたり、深めたりする学習活動が少ない。
- ⦿ PCやタブレット端末を使って「やりとりする」学習活動に取り組む機会が少ない。

中学校

- ⦿ 自分には良いところがあると感じたり、自分が認められていると実感したりしている生徒が少ない。
- ⦿ 平均と比べ、家庭での学習時間が少ない生徒の割合が高い。

課題を改善するための取組

小学校

- 👉 授業における「めあて」を明確にし、意見を発表し合うだけでなく、タブレット端末を使った「やりとり」を通して、自分の考えの良さや改善点に気付く場面を設定する。
- 👉 タブレット端末を活用する等、家庭学習の充実を図る。

中学校

- 👉 授業で確認した各自の課題等について、タブレット端末を活用するなど、自分の学びの成長を実感できるような家庭学習の取組を設定していく。
- 👉 昼休みや放課後等、読書に取り組む場面を設定し、自分の考えを広げたり、深めたりすることの楽しさを実感できる場面を設定していく。

取組紹介

朝来市立朝来中学校区の取組

兵庫県読書活動推進事業

全国で普段読書を全くしないという児童生徒が約20%います（朝来市も同様）。読書は、児童生徒の知的活動を増進し、人間形成や情操を養う上で重要なものです。令和5年度と6年度朝来市立朝来中学校は、県の指定を受け、読書活動推進に取り組んでいます。その一端をご紹介します。

<小・中学校での取組>

- 読書月間に「お薦めしたい本カード」を作成したり、ポップを作成したりといった本の紹介
- 中学生による小学校低学年への読み聞かせ

<家庭との連携>

生徒から保護者、保護者から生徒へのおすすめ本の紹介

<あさご森の図書館との連携>

- 「本の木（掲示物）」による本を介した地域全体の交流
- あさご森の図書館職員からのアドバイスによる学校図書館活動の充実

